

--- 参考資料 ---

- ◇スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール実施要項
- ◇SPH事業概要、指定校一覧、研究開発課題及び研究開発の概要
- ◇SPHホームページについて
- ◇専門高校パンフレットについて

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール実施要項

平成26年1月24日

文部科学大臣決定

1. 趣旨

近年の科学技術の進展等に伴い産業界で必要な専門知識や技術は高度化し、従来の産業分類を超えた複合的な産業が発展している。

これに対応するため、高等学校（専攻科を含む）及び中等教育学校の後期課程の職業教育を主とする学科など（以下「専門高校等」という。）において、大学・研究機関・企業等との連携の強化等により、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を図る。

2. 事業目的

専攻科を含めた5年一貫のカリキュラムの研究や大学・研究機関等との連携など先進的な卓越した取組を行う専門高校等をスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールに指定し、実践研究を行うことで、上記趣旨の達成に必要な専門高校等に関する教育課程等の改善に資する実証的資料を得る。

3. 実施期間

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定期間は、原則として3年（専攻科を含める場合は最長5年）とする。

4. 指定の手続

- (1) スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールとしての指定を希望する専門高校等の管理機関（国立の学校にあつては当該学校を設置する国立大学法人，公立の学校にあつては当該学校を所管する教育委員会，私立の学校にあつては当該学校を設置する学校法人をいう。以下同じ。）は，文部科学省にスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定に係る申請書（以下「指定申請書」という。）を提出する。指定申請書には当該学校のスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールとしての指定に関する同意書を添付するものとする。
- (2) 文部科学省は，指定申請書に記載された研究開発計画の内容を審査し，適切と認めるときは当該学校をスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールに指定する。

5. 研究開発の実施

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールに指定された学校（以下「指定校」という。）においては，社会の変化や産業の動向等に対応した，高度な知識・技能を身に付け，社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため，先進的な卓越した取組を行う教育を重点的に実施する。

これに関する教育課程等の改善に資する実証的資料を得るため、現行教育課程の基準の下での教育課程等の改善に関する研究開発のほか、学校教育法施行規則第85条（同規則第108条第2項で準用する場合を含む。）に基づき、現行教育課程の基準によらない教育課程を編成・実施して研究開発を行うことができる。

6. 指定校の運営

管理機関は、指定校の運営に関し、専門的見地から指導、助言、評価に当たる運営指導委員会を設けるものとする。運営指導委員会は、学校教育に専門的知識を有する者、学識経験者、企業等の技術・技能者、関係行政機関の職員等によって組織するものとする。

7. 実績の報告

管理機関は、指定校における研究開発の成果・実績を毎年度文部科学省に報告するものとする。

8. 経費等

(1) 文部科学省は、事業計画の規模・内容等を勘案し、予算の範囲内で、本事業の実施に当たり適切と認められる経費を委託費として支出する。

(2) 文部科学省は、指定校における研究開発の実施状況及び経理処理状況について、管理機関及び指定校に対し聴取及び実地に調査することができる。

9. スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール企画評価会議

本事業での専門的職業人を育成する研究開発の推進に係る企画、指定校に係る審査及び研究開発の評価等を行うため、文部科学省にスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール企画評価会議を置く。企画評価会議は、学校教育に専門的知識を有する者、学識経験者、企業等の技術・技能者、関係行政機関の職員等をもって構成する。

10. 文部科学大臣の是正措置

文部科学大臣は、指定校における研究開発の内容が、指定の趣旨に反すると認めるときは、企画評価会議の意見を聴いて、必要な是正措置を講ずる。

11. その他

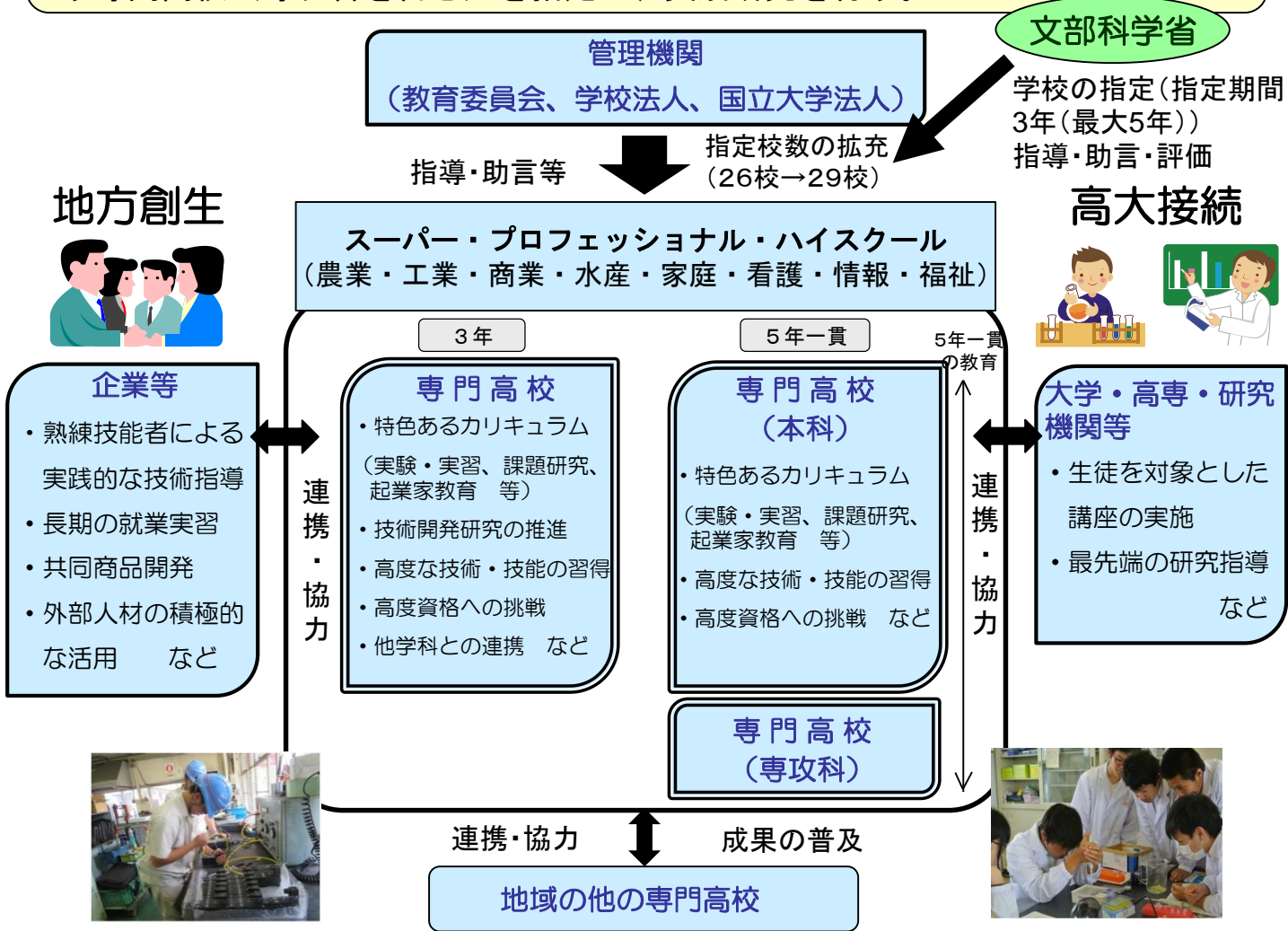
この要項に定める事項のほか、本研究開発に係る関係書類の様式、事務処理の細目等、本研究開発の実施に当たり必要な事項については、別途定める。

スーパー・プロフェSSIONAL・ハイスクール（SPH）

平成29年度予算額 173百万円
平成30年度概算要求額 197百万円

(1)「スーパー・プロフェSSIONAL・ハイスクール」の指定

社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組を行う専門高校（専攻科を含む）を指定し、実践研究を行う。



- ・我が国の産業の発展のため、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成
- ・成果モデルを全国に普及し、専門高校全体の活性化を推進

(2) 専門高校の魅力発信に関する調査研究

将来の農業経営者等となり得る農業高校生に対し、GAP（農業生産工程管理）に関する学習を推進することは、農業生産技術の習得のみならず、経営感覚や国際感覚を兼ね備えた人材の育成に資する。

GAPの実践やGAP認証の取得の先進事例に関する調査等を行い、その成果を広く全国に提供することで、農業高校におけるGAP認証の取得等を促進し、専門高校の魅力を向上させる。

（調査研究委託先は民間シンクタンク、大学、専門高校に関する団体等を予定）

平成29年度 SPH指定一覧

は指定期間終了

No.	都道府県	平成26年度指定 (指定期間:26~28年度) ※専攻科を含む場合は5年指定			平成27年度指定 (指定期間:27~29年度) ※専攻科を含む場合は5年指定			平成28年度指定 (指定期間:28~30年度) ※専攻科を含む場合は5年指定			平成29年度指定 (指定期間:29~31年度) ※専攻科を含む場合は5年指定		
		学校種	学校名	教科	学校種	学校名	教科	学校種	学校名	教科	学校種	学校名	教科
1	北海道										市立	北海道札幌啓北商業高等学校	商業
2	青森県												
3	岩手県												
4	宮城県	県立	宮城県農業高等学校	農業									
5	秋田県							県立	秋田県立大曲農業高等学校	農業			
6	山形県	県立	山形県立酒田光陵高等学校	情報	県立	山形県立加茂水産高等学校	水産						
7	福島県										県立	福島県立小高産業技術高等学校	工業・商業
8	茨城県												
9	栃木県				県立	栃木県立宇都宮工業高等学校	工業						
10	群馬県							県立	群馬県立勢多農林高等学校	農業			
11	埼玉県	県立	埼玉県立常盤高等学校※	看護									
12	千葉県				県立	千葉県立千葉工業高等学校	工業						
13	東京都										都立	東京都立新宿山吹高等学校	情報
14	神奈川県												
15	新潟県										県立	新潟県立加茂農林高等学校	農業
											県立	新潟県立新潟工業高等学校	工業
16	富山県												
17	石川県	県立	石川県立工業高等学校	工業									
18	福井県				県立	福井県立若狭東高等学校	農業						
19	山梨県										県立	山梨県立甲府工業高等学校※	工業
20	長野県							県立	長野県諏訪実業高等学校	商業・家庭			
21	岐阜県	県立	岐阜県立岐阜商業高等学校	商業	県立	岐阜県立大垣桜高等学校	家庭	県立	岐阜県立岐阜工業高等学校	工業			
22	静岡県	県立	静岡県立焼津水産高等学校	水産									
23	愛知県	県立	愛知県立豊田工業高等学校	工業	市立	名古屋市立名古屋商業高等学校	商業	県立	愛知県立三谷水産高等学校※	水産			
24	三重県										県立	三重県立相可高等学校	家庭
25	滋賀県										県立	滋賀県立八幡商業高等学校	商業
26	京都府							府立	京都府立京都すばる高等学校	情報			
27	大阪府				市立	大阪市立淀商業高等学校	福祉						
28	兵庫県	県立	兵庫県立西脇高等学校	家庭				県立	兵庫県立神戸商業高等学校	商業			
		県立	兵庫県立龍野北高等学校	福祉									
29	奈良県												
30	和歌山県												
31	鳥取県												
32	島根県												
33	岡山県												
34	広島県				県立	広島県立庄原実業高等学校	農業						
35	山口県												
36	徳島県				県立	徳島県立徳島商業高等学校	商業						
37	香川県												
38	愛媛県							県立	愛媛県立今治工業高等学校	工業	県立	愛媛県立宇和島水産高等学校	水産
39	高知県												
40	福岡県	県立	福岡県立福岡農業高等学校※	農業				県立	福岡県立香椎高等学校	家庭			
41	佐賀県												
42	長崎県												
43	熊本県							県立	熊本県立南稜高等学校	農業			
44	大分県				私立	昭和学園高等学校※	看護						
45	宮崎県										県立	宮崎県立高鍋農業高等学校	農業
46	鹿児島県												
47	沖縄県												
		2校			10校			10校			10校		

平成26年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校
研究開発課題及び研究開発の概要

学校名	研究の概要
<p>宮城県 のうぎょう 農業高等学校 (農業)</p>	<p>【研究開発課題】 「日本最古の農業高校 震災・津波から復活の取組み！地域で活躍する就農者増加に向けて」 ～志・知・技を持った就農者増加へのV字回復～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学科（農業科、園芸科、生活科、食品化学科、農業機械科）の特徴を生かした、魅力ある農業モデルの学習プログラムを策定し、就農に向けた実践力を育成する。 ・就農者育成に向けて、農業を担当する教員の技術力やその実践力の向上のため、農家・農業法人での研修（一人10か所）を行い、復興を支える志のある生徒を育成する。 ・就農者を育成するため、農業の魅力について生徒、保護者に積極的な情報提供を行うとともに、他教科の教員に対しても農業の魅力を発信する取組を実施する。
<p>山形県立 さかたこうりょう 酒田光陵高等学校 (情報)</p>	<p>【研究開発課題】 「SKT（サカタ）IT-ACE プロジェクト」 地域や上級学校と連携し、「高度情報テクノロジー（IT）」、「アルゴリズム的思考力（AT）」、「システム創造力（SC）」、「高い志と職業倫理観（IE）」の4つを習得し、「世界を変える・未来を変える『IT技術者』の育成」を目指す研究。</p> <p>【研究開発の概要】</p> <p>学科「情報科」において、産業界や上級学校と連携して人材やスキルの提供を受け、教育内容を高度化し、高度情報化社会や情報産業に資する人材を育てていくこととし、以下3点の目標を設定して取り組む。</p> <p>ア 次世代の想像をリードしていく「IT技術者」の育成 イ 高度情報技術者を輩出するための教育プログラムの研究 ウ 地域からの「IT技術者」の発掘</p>
<p>埼玉県立 とまわ 常盤高等学校 (看護)</p>	<p>【研究開発課題】 5年一貫教育の特徴を生かした、看護専門職者を育成するための先進的なプログラムの研究開発 ～「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」と「生涯学び続ける力」を育てるために～</p> <p>【研究開発の概要】 「豊かな人間性」「確かな知識・技術」、「科学的思考・判断力」の育成を三つの柱とし、さらにこの三つを総括した「生涯学び続ける力」を育て、社会の第一線</p>

	<p>で活躍できる専門的職業人を育成することを目的に、以下の内容に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理に関する活動・講演会、被災地ボランティア ・デジタルコンテンツを用いた e-ラーニングによる授業 ・病院・企業との連携による授業の開発 ・実験的要素を含んだ授業展開 ・プロジェクト学習（PBL：Project-Based Learning）
<p>石川県立 <small>こうぎょう</small> 工業高等学校 （工業）</p>	<p>【研究開発課題】 高等教育機関と連携したフロンティア職業人育成プログラムの開発 －大学院レベルの先端科学技術への挑戦－</p> <p>【研究開発の概要】 北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）等の高等教育機関との連携を通して、高度な知識、技術及び技能に対する情熱とモチベーションを高め、自ら社会の変化や先端科学技術に対応できる将来の専門的職業人を育成するため、高度な内容を含む教育活動を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先端科学技術につながる基礎実習等を取り入れた授業を行う。 2. ゼミナール活動やプロジェクト活動を通じて、「論理的に考え判断する力」「学ぶべきものを見いだす力」「ゴールから課題を見据える力」を育成する。 3. 学問の本質・奥深さ・産業との結びつき等に触れさせる場面や、創造的な研究の醍醐味（だいごみ）を味わわせる場面を設定する。
<p>岐阜県立 <small>ぎふしょうぎょう</small> 岐阜商業高等学校 （商業）</p>	<p>【研究開発課題】 『会社設立・経営を通して実践力・創造力・起業家精神を身に付け、グローバルに活躍するビジネスリーダー育成プログラム』 ～Be the CEO Project（「生徒全員が社長」プロジェクト）～</p> <p>【研究開発の概要】 会社の設立、経営活動など実践的なビジネスの諸活動を、生徒一人一人が倫理観や経営者であるという自覚をもって主体的、合理的に行い、地域の産業の発展を図る創造的な能力、課題発見力・課題解決力、起業家精神を育成する教育プログラムを実施する。</p> <p>海外の商業高校と共同ビジネス活動を推進することを通して、高い語学力を育成するとともに、異なる文化と多様な価値観（Diversity）を理解し、多様な人々と共同でビジネス活動を行う包容力（Inclusion）を育成する。</p> <p>県内外の専門高校と連携し、商品開発や共同実習を通して、高校版「総合商社」を目指すとともに、日本の商業教育をリードする高いポテンシャルを有する専門高校へと高校改革を推進する。</p> <p>企業・大学・研究機関等と連携し、先端的な知識・技術を習得するとともに県内産業の活性化や日本経済の発展に貢献する学校を目指す。</p>

<p>静岡県立 <small>やいづすいさん</small> 焼津水産高等学校 (水産)</p>	<p>【研究開発課題】 漁業・水産業及び、水産物流通の高度化・グローバル化に対応した、我が国の水産業界をリードする専門的職業人の育成 ～育成プログラムを通した水産高校の先進的教育課程の研究～</p> <p>【研究開発の概要】 消費者ニーズや社会の動向を客観的に把握する能力を身に付けさせるとともに、漁獲、加工、流通、消費までを一つの産業として捉え、これらをマネジメントする能力を備えた次代の漁業・水産業においても活躍できる人材の育成を図り、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理に関する研修や産業現場における就業研修 ・漁場予測と安定的で持続可能な漁船漁業経営、起業家精神育成を目指した企業経営の実践研究
<p>愛知県立 <small>とよたこうぎょう</small> 豊田工業高等学校 (工業)</p>	<p>【研究開発課題】 将来の日本のものづくり産業の柱となる航空宇宙産業・次世代自動車産業を担う中核的専門人材を育成するため、地域、企業、大学等と連携し、グローバルメジャーの一員として活躍できるスーパー技術者の育成を戦略的に推進するための研究開発を行う。</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究開発課題に照らした特色ある教育課程の編成、及び、科目「実習」の指導内容や評価手法の精選 2. 研究開発課題に照らした外部機関と連携した科目「課題研究」の実践、長期の就業体験実習の実施 3. 専門的な技術用語を活用できる能力と態度の育成、留学生との交流 4. スーパー・サイエンス・ハイスクール校（愛知県立豊田西高等学校）との連携、工業科以外の学科（農業科等）との特色ある取組の融合
<p>兵庫県立 <small>にしわか</small> 西脇高等学校 (家庭)</p>	<p>【研究開発課題】 cool Japan cool Bansyuori －播州織再発見と西脇産ブランド発信－ 播州織生産の最先端技術を身に付け、社会の変化や消費者ニーズに対応したオリジナルブランドを作成し、播州織の魅力を海外に発信できる将来のスペシャリストを育成する。</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 播州織産地としての伝統ある織物や昔ながらの職人技を習得し、世界に誇る技術や日本の織物文化を理解するとともに、企業で使用している組織織制作コンピュータシステムを導入し、播州織生産の最先端技術を身に付ける。 2. 社会の変化や消費者ニーズに対応した、「売れる商品」の企画立案に向けて、播州織製品をプランニング、デザイン、リサーチ、マーケティング、プロ

	<p>デューズする力を身に付ける。</p> <p>3. 地域の播州織技術と日本文化や西脇の織物文化を融合させたオリジナルブランドを、NSH ブランド（西脇生活情報科ブランド）として海外に発信する。</p> <p>4. 播州織でつながる町やコミュニティづくりに取り組む。</p>
<p>兵庫県立 <small>たつのきた</small> 龍野北高等学校 (福祉)</p>	<p>【研究開発課題】 ソリューションフォーカスの視点に立つスーパー・プロフェッショナル・ケアワーカーの育成</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域や他の教育機関と連携し、生徒が主体となって機能回復・機能維持・介護予防のためのレクリエーション企画運営や介護の知識・技術の提供を行い、思考力や表現力、判断力を養う。 2. 看護科（専攻科）と合同で医療的ケアについて学び、実際の医療・介護現場を想定した連携方法の実践を行い、相互理解を図る。また、初任者研修を行っている学校の指導教員を、外部講師のサポートのための医療的ケア補助要員として育成する。 3. 外部の社会福祉関係機関・企業との連携や、他学科との校内連携を図り、車いすファッションショー（Welfare-Collection）などの取組を行う。また、社会福祉士養成大学やNPO 法人との協働を通して問題解決志向を養う。 4. 一般のケアワーカーが介護技術を競い合う各種競技大会への参加等を通じて高度な介護技術の習得とその指導法を研究する。
<p>福岡県立 <small>ふくおかのうぎょう</small> 福岡農業高等学校 (農業)</p>	<p>【研究開発課題】 都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成</p> <p>～次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 九州大学や九州沖縄農業研究センターと連携し、先端技術を導入した栽培実験・実習により栽培管理技術を向上させる。 2. 農業生産法人及び農業関連企業において経営的な視点や自立した農業経営に必要な経営方法を学ぶ。 3. 「食の6次産業化プロデューサー」の内容を学習し、栽培技術の向上だけでなく生産物の付加価値を高める企画や広報の在り方を研究する。 4. 産業現場で必要な資格を有し、活用できる人材を育成する。

**平成27年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校
研究開発課題及び研究開発の概要**

学校名	研究の概要
<p>山形県立 <small>か も すいさん</small> 加茂水産高等学校 (水産)</p>	<p>【研究開発課題】 海を活かす 守る 興す 人づくり ～地域再生の原動力 LIR (Local Inclusive Regeneration) 創造プロジェクト～ 中型実習船『鳥海丸』を効果的に活用し、学校の活性化を図るとともに、地域に貢献するためのアグレッシブな〔地域再生の原動力たる〕水産教育の実践</p> <p>【研究開発の概要】 A 「海を活かす人づくり」～Take advantage of the sea～ 「海・船・水産物のスペシャリスト」として地域に貢献できる人づくりを行う。特に、加茂水産水族館との連携を強め、海の恵みの重要性を伝えることができる人材を育成する。 B 「海を守る人づくり」 ～Protect the sea～ 豊かな海を継承するため、地域の環境保全と水産業の振興・地域の活性化に積極的に取り組む人材を育成する。 C 「海を興す人づくり」 ～Take action for the sea～ 地域の漁法や食文化を伝承しつつ、自らの創意工夫によって地域と連携し、水産業に貢献できる人材を育成する。</p>
<p>栃木県立 <small>う つのみやこうぎょう</small> 宇都宮工業高等学校 (工業)</p>	<p>【研究開発課題】 「技術立国日本を担うグローバルエンジニアの育成」</p> <p>【研究開発の概要】 これからの日本が、いきいきとした豊かな社会となり、国際社会への貢献を果たしていくためには、次代を担う若者が高い技術力を誇り、新たな創造へ果敢に挑戦していく逞しさを身に付ける必要があることから、教育界や産業界及び本校の現状と課題を踏まえながら研究開発プログラムを次の通りとし、グローバルに活躍できるエンジニアの育成を目指す。</p> <p><A> 「育成すべき資質・能力」に関する研究 ①優れた技術を有する県内企業や海外進出企業等の視察 ②宇工高スタンダードからアドバンスプログラムへの展開（教育の質の向上） ③起業家精神育成への取組</p> <p> 「学習・指導方法」に関する研究 ①大学・企業等と連携した共同研究や企業との連携による先端的機器の活用 ②アクティブ・ラーニングや反転授業、外国人講師を活用した、外国語（英語）を活用できる能力の育成を図る専門科目等の導入 ③科学的な視点も踏まえた「工業技術基礎」の展開や卒業研究としての「課題研究」の推進</p>

<p>千葉県立 ちばこうぎょう 千葉工業高等学校</p> <p>(工業)</p>	<p>【研究開発課題】 社会や地域のニーズを踏まえ、産学官連携のもとに、高度な科学技術に対応した科学的思考力を有し、ものづくりを通じて課題を解決する工学的センスを身に付け、グローバルに活躍できる生徒を育成するプログラムの開発</p> <p>【研究開発の概要】 応用力と工学的センスを有し、工業に関する諸課題をグローバルな視点からも考えることができる生徒の育成を目指して、下記対応策を実践し、その効果を検証する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高度な科学技術に対応できる力とタスクマネジメント能力の育成 ②クロスカリキュラムを活用した効果的な学習カリキュラムの編成と反転授業の実践から、思考力・判断力・表現力の育成 ③大学、企業との連携による高度先進科学・技術の学習を通して、「ものづくりの心」や「工学的センス」の育成 ④外国人博士研究員 (Post Doctor) や修士学生等の活用により、グローバルな視点を身に付けさせる教育の推進 ⑤「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」を活用したインターンシップを実施することで、より生徒の目的意識、職業観、勤労観を育成
<p>福井県立 わかさひがし 若狭東高等学校</p> <p>(農業)</p>	<p>【研究開発課題】 農業を中核に商業・工業と融合した産業を創り、「地域資源を活かし売れる商品をつくるテクノアグリ」人材の育成</p> <p>【研究開発の概要】 薬用植物の産地化、植物工場など高度な施設園芸、経営やマーケティング、技術開発など「生産、調理・加工、販売」に総合的に取り組める力を身につける「テクノアグリプログラム」を研究開発し、地方を創生する産業づくりに貢献できる人材育成を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①薬用植物の産地化に対応できる人材の育成 ②植物工場など高度な施設園芸に対応できる人材の育成 ③経営やマーケティング、技術開発ができる人材の育成
<p>岐阜県立 おおがきくら 大垣桜高等学校</p> <p>(家庭)</p>	<p>【研究開発課題】 CHANGE SAKURA ～技と心で羽ばたけ グローバルクリエイター育成プロジェクト～</p> <p>【研究開発の概要】 [服飾デザイン科] グローバルな視野から服飾に関わるものづくりやビジネスを取り上げ、総合的にファッションを世界に発信していくことができるファッションビジネスリーダーやグローバルファッションクリエイターを育成する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の繊維関連企業が有する高度な技術力、デザイン力を習得 ・企業と連携しオリジナルテキスタイルを制作し、オリジナルデザインの洋服の提案・商品化、ブランド化 ・国内外のファッション関連学校と連携し、最先端のファッション動向を把握 <p>[食物科]</p> <p>食文化の伝承や、よりよい暮らしを支え、健康的な「食」の企画・提案を行うなどの実践的な活動を通して、地域の食文化の発展に寄与するフードクリエイターを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官の関係機関と連携して食のニーズを調査・分析し、地域農産物の特徴を生かしたオリジナルレシピや、商品・サービスの開発、食生活の改善等の提案 ・食産業界で活躍している専門家を招聘し、講演会や講習会を開催、産業現場実習を実施
<p>名古屋市立 <small>なごやしやうぎやう</small> 名古屋商業高等学校</p> <p>(商業)</p>	<p>【研究開発課題】</p> <p>Think Glocally, Act Glocally. ～世界ハ我市場ナリ～ 職業バカロレアとアクティブラーニングによる世界を視野に地域で貢献し、ビジネスを創造・構築できる人材の育成</p> <p>【研究開発の概要】</p> <p>世界を視野に地域で貢献し、ビジネスを新たに創造・構築できる人材を育成するため、下記の教育プログラムの開発を行う。併せて、海外での生徒の体験・実習に関する教育プログラムの開発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業バカロレアの試験手法に対応した授業の導入による、思考力、判断力及び表現力のある人材の育成 ・アクティブラーニングの学びによる、専門的な知識や技術・技能を活用・応用する力とチャレンジ精神を有する人材の育成 ・長期の勤労実習「ジョブチャレンジ」の実施による、確かな職業観・勤労観の涵養と実践力のある人材の育成 ・グローバルビジネス実践プログラムの開発による、グローバルな視野でビジネス活動を実践できる人材の育成 ・地域貢献プログラムの開発による、地域の課題に対する高い意識と地域貢献への意欲を持ち、行動できる人材の育成
<p>大阪市立 <small>よどしやうぎやう</small> 淀商業高等学校</p> <p>(福祉)</p>	<p>【研究開発課題】</p> <p>超高齢社会を迎えて新たな価値を創造できるバリュークリエイターの育成 ～2025（H37）年を支える地域福祉におけるリーダー的存在へ～</p>

	<p>【研究開発の概要】</p> <p>1. 超高齢社会の日本を支える介護福祉士としての専門性の強化 介護を必要とする様々な利用者に対し、基本的かつより専門的な介護を提供できる能力を育成するための教育内容・指導方法の開発を研究の重点項目とする。</p> <p>2. 地域社会と繋がりをもつ福祉実践教育～地域福祉の課題に向けた専門分野との共創～ 介護福祉士に関する知識・技術を活かした課題対応能力をはじめ、他の専門分野との協働に向けた教育内容や指導方法の開発を行う。更に介護福祉士の専門的な立場から地域福祉問題に主体的に取り組み、新たな価値を創造するための教育内容や指導方法の開発を研究の重点項目とする。</p>
<p>広島県立 <small>しょうばらじつぎょう</small> 庄原実業高等学校</p> <p>(農業)</p>	<p>【研究開発課題】 地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッショナルの育成 — 里山のチカラを世界へ —</p> <p>【研究開発の概要】 「地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッショナル」を育成するため、「学習プログラムの開発と実践」、「キャリア教育の充実」、「教育ネットワーク及び人材育成システムの構築」に取り組み、次の4点をはぐくむ。</p> <p>①将来のプロフェッショナルを目指し、主体的に学ぶ姿勢と学び方を身に付けている</p> <p>②将来のプロフェッショナルになるための専門的な知識と技術、実践力を身に付けている</p> <p>③郷土を愛し、地域や産業の発展に貢献しようとする意欲をもっている</p> <p>④異なる文化や文明を理解し、視野を広げ、国際感覚を身に付けるとともに、他者と協働して新たな価値を創造できる</p>
<p>徳島県立 <small>とくしましょうぎょう</small> 徳島商業高等学校</p> <p>(商業)</p>	<p>【研究開発課題】 Deep in Tokushima ～徳商版「地域創生」人材育成プロジェクト～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <p>1：地域コンサルタントの育成（地域のことをよく知り、様々な課題に対して柔軟に対応できる人材の育成） 地域企業と連携した商品開発や地域活性化への取組・Web 支援活動・財務諸表を用いた企業相談など。</p> <p>2：観光ガイド・商品開発力を持った人材の育成（地域の魅力を創出し、プロデュースできる人材の育成） 京都や沖縄、さらにはアジア最大の観光地であるカンボジアのシェムリアップから観光のノウハウを学ぶ。</p> <p>3：Glocal プロデューサーの育成（地域の魅力を世界に向けて発信できる能力を有し、人と人、企業と企業のネットワー</p>

	<p>クを構築することができるグローバルなプロデューサーの資質を持つ人材の育成)</p> <p>海外との交流を積極的に進め、海外の生徒と共同した国際展示会への出展や商品の流通について研究し、グローバルビジネスを担う生徒を育成する。</p>
<p>学校法人岩尾昭和学園</p> <p><small>しょうわ がくえん</small> 昭和学園高等学校</p> <p>(看護)</p>	<p>【研究開発課題】</p> <p>社会人基礎力を備え、地域社会に貢献できる看護師の育成 － 5年一貫で看護師を目指す高校生の人間としての成長をサポート－</p> <p>【研究開発の概要】</p> <p>5年一貫の看護教育を通して、高校生が主体的に学び、専門性と社会性を身に付け、人間として成長できるよう支援するプログラム開発。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 立命館アジア太平洋大学生（半数近くが留学生）との交流を通じて文化や価値観等の多様性を理解し、人間関係形成・社会形成能力を養う。 2. 反転授業、シミュレーション教育を活用して主体的に学び、専門の知識・技術を身に付け、課題解決できる能力を養う。 3. 大学生との交流、異学年交流、地域ボランティア活動等に主体的に参加することにより社会人基礎力を身に付ける。

**平成28年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校
研究開発課題及び研究開発の概要**

学校名	研究の概要
<p>秋田県立 <small>おおまがりのうぎょう</small> 大曲農業高等学校 (農業)</p>	<p>【研究開発課題】 DAINOプロジェクトによる農業と地域産業の創造 ー実践的技術・技能・経営力を身に付けた地域創生を担う人材育成プログラムの研究ー</p> <p>【研究開発の概要】 農業の付加価値を生み出すサービスとブランディングを創り出す人材や地域の産業を結びつけ6次産業を生み出す人材の育成、また、豊かな農山村資源をグリーンツーリズムなどと結びつけその活性化のために活躍できる人材の育成に向けて、次の学習プログラムの研究開発を行う。</p> <p>(1)アグリビジネス学習 (Agri-business Learning) 「ふるさと秋田」を支える人材の育成に取り組み、地域農業を理解し、地域資源や人的資源を利活用する力を身に付けさせる。</p> <p>(2)イノベーション学習 (Innovation Learning) 地域環境に関するプロジェクト活動、農産物のブランディングや高度な技術実習を通じて、地域環境の保護活動や栽培に関する高度な知識、最先端の技術に触れることにより、「ふるさと秋田」の多様な資源を生かす力を身に付けさせる。</p> <p>(3)高スキルアップ学習 (Noble Skill-up Learning) 地域農業に関わる農業者との交流や地域社会の構成者としての自覚を高めさせ、「ふるさと秋田」の地域課題に主体的・協働的に取り組む力を身に付けさせる。</p> <p>(4)組織的マネジメント学習 (Organic Management Learning) 農業経営者としての資質を高め、研修を通して農業技術の改良や科学的な考え方を習得し、農業経営の課題解決について取り組むことができ、「ふるさと秋田」の農業の発展に貢献できる経営の多角化や高度化の方法を身に付けさせる。</p>
<p>群馬県立 <small>せいたのうりん</small> 勢多農林高等学校 (農業)</p>	<p>【研究開発課題】 勢農ブランド確立への挑戦！未来の農業を拓く専門人材育成プログラムの開発 ～地方創生や成長産業としての農業を担うための資質・能力の育成～</p> <p>【研究開発の概要】 地方創生や農産物の輸出等に果敢に挑戦しようとする将来のスペシャリストの育成を目的に、生涯にわたって自ら考え課題を解決していく力や主体的に行動できる力（課題解決実践力）を持つ</p>

	<p>た人材の育成に必要なカリキュラムや学習指導法、地域連携の研究、さらにはキャリア教育の在り方について研究する。</p> <p>(1)学習指導法等の研究 農業の専門科目では、学校設定科目「地域連携Ⅰ・Ⅱ」「農業マーケティング」を設定するとともに、各学科の中核科目においてプロジェクト学習法を取り入れ、主体的・協働的な学習活動を展開することにより、課題解決実践力を育成する。</p> <p>(2)地域連携の研究 地域資源を活用したプロジェクト活動を全学科で展開し、関係機関等との連携強化を図りながら、「勢農ブランド」として発信できるモデル事業等の研究を行う。</p> <p>(3)キャリア教育の研究 専門高校におけるインターンシップの効果的な実施方法や、専門科目内でのキャリア教育の指導法について研究する。</p>
<p>長野県 すわ じつぎょう 諏訪実業 高等学校 (商業・家庭)</p>	<p>【研究開発課題】 ー「文化ビジネスエキスパート」グローアップ・カリキュラムー 地域の魅力や日本の感性をビジネスバリューにつなげ、世界に羽ばたく人材育成プログラムの研究</p> <p>【研究開発の概要】 商業科、会計情報科の「流通」と服飾科の「ものづくり」の知識や技術を兼ね備え、地域の伝統文化や伝統産業の魅力を理解し、「文化ビジネス」としてグローバルに展開することができる人材育成を行う教育課程である「文化ビジネスエキスパート」グローアップカリキュラムと、両学科が連携して実施する「文化ビジネスプロジェクト」の研究、開発を行う。</p> <p>(1)「文化ビジネスコーディネーター」育成 「ビジネス」や「ファッションデザイン」の基礎知識と技術を備え、諏訪や長野県内各地の伝統文化や伝統産業の魅力を深く理解し、人・モノ・企業を結びつけ課題解決の方策を具体的に提案できる人材を育成する。</p> <p>(2)「文化ビジネスディベロッパー」育成 「ビジネス」と「ファッションデザイン」の知識と技術を生かし、地域の伝統産業や伝統文化の強みを生産物の価値を向上させるための「感性的価値」として付加した商品・サービス・ブランドを開発し、提供できる人材を育成する。</p> <p>(3)「文化ビジネスプロデューサー」育成 地域資源に関わるビジネスバリューの創造を企画し、文化ビジネス戦略を展開し、グローバルにプロモーション活動を行い、新たにビジネスチャンスを生み出す人材を育成する。</p>

<p>岐阜県立 <small>ぎふ こうぎょう</small> 岐阜工業 高等学校</p> <p style="text-align: center;">(工業)</p>	<p>【研究開発課題】 次世代テクノロジストの育成 (Development of The Next Generation Technologists) ～成長産業・新技術の開発に挑戦する、 ものづくりスピリットをもつ若者の育成～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙産業への興味関心を喚起し、航空機製造の作業工程に必要な専門的な知識・技術を習得するとともに、県内はもとより我が国の基盤産業となる航空宇宙産業の発展を支える技術者の育成 ・感情認識機能を有するロボットの制御プログラム技法を習得するとともに、医療福祉分野に応用したプログラム開発を行い、将来は本県の情報通信産業の振興を担う技術者の育成 ・もの、仕組みを総合的に捉え、新しい技術や考え方を取り入れた新たな価値を創造する取組をとおして、社会に変化をもたらすイノベーションの推進を支える技術者の育成
<p>愛知県立 <small>みや すいざん</small> 三谷水産高等学校</p> <p style="text-align: center;">(水産)</p>	<p>【研究開発課題】 水産・海洋資源の持続的利用や六次産業化、グローバルな資源管理やローカルな里海の環境保全の取組等を通して、地域社会をリードし、海洋立国日本の将来を支えるグローバル人材を育成するための先進的かつ汎用的な研究</p> <p>【研究開発の概要】 水産高校には、時代の変化や新たな価値を主導・創造し、水産及び海洋分野を牽引する、高度な専門的知識と実践力を兼ね備えたグローバル（グローバルな視点でローカルに活躍する）な人材の育成が求められている。そのため、専攻科を含めた水産教育の中で、現行の学習指導要領で改善された3つの観点(1)将来のスペシャリストの育成、(2)地域産業を担う人材の育成、(3)人間性豊かな職業人の育成を踏まえた6つの先進的かつ汎用的な研究開発等に取り組むことで、地域社会をリードし、将来の海洋立国日本を支える人材の育成を目指す。</p> <p>(1) 将来のスペシャリストの育成</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 産学官連携によるクロアワビの完全閉鎖式陸上養殖技術の研究 ② ラジコンマルチコプターによる水質リモートセンシングの研究 ③ 海洋調査等における小型海洋調査用水中ロボットの活用に関する研究 <p>(2) 地域産業を担う人材の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> ④ 研究機関や地域産業との協働による新商品開発と六次産業化の研究 ⑤ 大学等の研究機関との連携によるウナギの資源保護と完全養殖化に向けた基礎研究

	<p>(3) 人間性豊かな人材の育成</p> <p>⑥ グローバルな視点を身に付けた水産技術者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携企業における長期インターンシップ（日本版デュアルシステム）の取組 ・ 水産・海洋産業の国際化に対応できるグローバル人材の育成
<p>京都府立</p> <p>京都すばる高等学校</p> <p style="text-align: center;">(情報)</p>	<p>【研究開発課題】</p> <p>産官学連携による情報セキュリティ人材育成 ～幅広い教養と豊かな情操を基盤にして、高い情報技術・倫理観を持ち、サイバー空間を「自由、公正かつ安全」に創出及び発展させる人材育成プログラムの開発～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <p>情報セキュリティ分野で全国的にも主導的かつ卓越した取組を進める先進IT企業、京都府警察本部サイバー犯罪対策課及び京都大学、立命館大学との産官学連携による情報セキュリティ人材育成プログラムを次の目的をもって開発する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高い情報技術・倫理観を持った将来の情報セキュリティ人材の育成 (2) 課題解決に積極的に取り組み、その成果をもって社会貢献できる人材の育成 (3) e-Learning System を用いた主体的・自発的に学習に取り組む態度の育成 (4) 新しい学びや実績の積極的広報及び全国専門学科「情報」設置校への研究成果の普及
<p>兵庫県立</p> <p><small>こうべ しょうぎよう</small> 神戸商業高等学校</p> <p style="text-align: center;">(商業)</p>	<p>【研究開発課題】</p> <p>『貿易人KOB E』プロジェクト～世界を相手にたくましく生きるグローバル人材の育成～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産官学と連携しながら、高校生が自らの力で輸出入商品の販路を開拓し、世界を相手にたくましく生きる力を養うとともに、貿易のスペシャリストに必要な知識・技能を身に付けさせる。 ・ 貿易実務を実際に行うだけでなく、顧客が満足する海外商品を買って輸入・販売したり、生徒自身が開発した商品等を海外へ輸出・販売したりすることを通じて、交渉力やリーダーシップ、責任感、チャレンジ精神等を高めるとともに、地元神戸に愛着を持ち、地域経済の活性化等に寄与する人材を育成する。 <p>(1) 輸出入商品の販路開拓等の調査・研究</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足を満たす輸出入商品や販路開拓等の調査・研究、調査 ・研究発表大会の実施 ・連携機関等による出前授業、港湾関係施設等の訪問 (2) 貿易実務に必要な知識・技能および実践的な能力の習得 ・連携機関等による出前授業、港湾関係施設等の訪問 ・インターンシップ、先進的な港湾の視察 (3) グローバルな視点・語学力の育成 ・連携機関等による異文化理解ができる体験・貿易英語に関する出前授業 ・英語や中国語の語学力を高めるとともに、テレビ会議システムを活用した協働学習 (4) マーケティングに関する実践的な知識と技術の習得 ・連携機関等による出前授業、企業等が行うマーケティング活動の現場訪問 ・連携機関等によるテレビ会議システムを活用した協働学習 (5) 海外との取引に必要な知識と技術の習得 ・海外の見本市等での販売等、生徒自ら販路を開拓した販売活動、販売活動に伴う輸出入手続きの実践 ・販売活動に伴う様々なマーケティング活動の取組 (6) ビジネスマナー・就業意識の育成 ・連携機関等によるビジネスマナーを高める実技指導 ・連携機関等による就業意識を高める出前授業
<p>愛媛県立 <small>いまばりこうぎょう</small> 今治工業 高等学校</p> <p style="text-align: center;">(工業)</p>	<p>【研究開発課題】 船づくりをモデルケースとした地学地就による次世代スペシャリスト育成プロジェクト Collaboration in Education with Regional Communities in IMABARI</p> <p>【研究開発の概要】 本研究の目的として、 I 地域産業で活躍できる優れた人材育成メソッドの確立 II 確立された人材育成メソッドの校内、県内、全国への普及 III 人材育成の課題解決に向けた一連の取組を通じた地方創生への貢献 の三つの項目を掲げ、以下の取組を実施することとする。</p> <p>〈Community Action I～III〉 (1～3年次) ○確かな知識や実践的な技能とともに、規範意識や倫理観を身に付けさせる取組の実践 ・地元造船会社や今治地域造船技術センター等との連携により、「匠の技」や「職人魂」に直接触れさせ、生徒のモチベーションを高めるとともに、実践的な実技指導を行う。</p> <p>〈Challenge Stage I～III〉 (1～3年次) ○専門分野の高度な技術を身に付けさせる取組の実践 ・愛媛大学、広島大学、海上技術安全研究所等との連携により、</p>

	<p>世界最高水準の日本の造船技術を習得させるために、実験・課題演習に挑戦させる。</p>
<p>福岡県立 <small>かしい</small> 香椎高等学校 (家庭)</p>	<p>【研究開発課題】 デスティネーションデザイン！アジア経済圏におけるファッション産業集積拠点「福岡」の成長を担う専門的職業人「Kブランド人材」の育成～高度な資質・能力を育む産学接続型教育プログラムの開発を通して～</p> <p>【研究開発の概要】 福岡商工会議所や地場企業など地元産業界やファッション系大学等と連携・協働することにより、ファッション界で新たな価値を生み出す基盤となる高度な資質・能力を育む産学接続型教育プログラムを開発し、産業としての側面から“クールジャパン”の担い手として感性や創造力等をビジネスに繋げていくプロフェッショナルな人材の育成を目指す。具体的には以下の4つの教育プログラムを開発する。</p> <p>(1) 唯一無二のデザインを生み出す創造力を育む「福岡発ファッションイベント企画・運営実習」</p> <p>(2) 可能性を広げるワールドワイドな鋭い感性を育む「世界のファッション文化を学ぶ海外研修」</p> <p>(3) 「美」の文化を複眼的に捉える洞察力を育む「郷土の一級品に触れる実習・体験活動」</p> <p>(4) グローバルに活躍する基礎となる語学力を育む「English for fashion students」</p>
<p>熊本県立 <small>なんりょう</small> 南稜高等学校 (農業)</p>	<p>【研究開発課題】 地域を担う生命総合産業（Total Life Industry）クリエイターの育成</p> <p>【研究開発の概要】 地域の基幹産業である「農業」を食料生産の分野に留めず、教育・福祉・生活等あらゆる分野と融合した生命総合産業分野を創造し、地域創生へ寄与できる豊かな創造力と技術を持った人材を育成する。また、都市部や諸外国の都市と農業文化交流を図ることでグローバルな視点を養うとともに、地域の風土・文化的資源や人的資源を活用しながら、日本文化遺産に認定された「球磨人吉地域」の伝統文化及び先人の技術や知恵の結晶を次世代に継承し、地域を活性化できる実践力のあるクリエイターを育成する。</p> <p>(1) 将来の農業経営を目指し地域リーダーを育成する「南稜就農塾」の教育プログラムを人材育成のモデルとし、将来的に地域内の各産業分野で持続的な発展と活性化に寄与する人材育成を全学</p>

	<p>科で行う。</p> <p>(2)産学官連携を強化することで、地域のニーズを教育活動に取り入れ、地域を担う役割を自覚し、意欲的に課題解決と新産業分野の創造ができる人材育成につなげる。</p> <p>(3)プロジェクト学習法を取り入れ、農業の発展、農村振興等につながる創造的・発展的活動を地域と一体となっていく。本校が准研究機関としての役割を発揮し、地域課題解決や商品開発、検証的調査、先進的技術・設備の導入等を行い、その成果を地域に普及する。</p> <p>(4)研究の評価及び測定には、本校独自の「南稜版学習到達度評価方法（LAEM for Nanryou）」で検証的評価を行う。</p> <p>これらの人材育成及び研究・開発、産学官連携の総合的な活動を「南稜型地域活性化プログラム」と称し、地域のモデルになり、さらには地域に根付いた産業教育を行う他校の模範となる先導性と新規性のある研究を目指す。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成29年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校
研究開発課題及び研究開発の概要

学校名	研究の概要
<p>北海道 札幌啓北商業高等学校 (商業)</p>	<p>【研究開発課題】 マネジメント能力を身に付けた職業人の育成 ～ 札幌の未来を担う人材の育成 ～</p> <p>【研究開発の概要】 本研究では、本校を核として、地元札幌を中心とした企業、外部教育機関、行政、地域社会が有機的に結びつくことで、人的資源、物的資源、財務的資源及び情動的資源を適切に活用する「マネジメント能力を身につけた職業人の育成」を目標とする教育プログラムの開発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 育成する資質・能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー・コミュニケーション能力 ・協調性・協働性 ・リーダーシップ ・企画力・創造力 ・顧客満足実現能力 ・ビジネス探究能力 ・会計情報提供・活用能力 ・情報処理・活用能力 ● 研究開発するプログラム <ul style="list-style-type: none"> ・「観光」分野に関する取組 ・「MICE」分野に関する取組 ・「国際交流」分野に関する取組 ・「地域ビジネス」分野に関する取組 ・「起業家教育」分野に関する取組
<p>福島県立 小高産業技術高等学校 (連携(工業・商業))</p>	<p>【研究開発課題】 東日本大震災・原発事故からの地域復興を担う人材育成</p> <p>【研究開発の概要】 本研究では、「地域復興を担う人材育成」に取り組み、学科連携によってイノベーション・コースト構想に関連する知識や技術及び技能を身に付け、復興のためのビジョンを持ち、その実現に資する職業人を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 育成する力 <ul style="list-style-type: none"> ・「自ら考え行動し未来を創造する」 課題を探究し解決しようとする姿勢を持つ ・「自らを価値ある人間だと考えられる」 自尊心、自己肯定感を持つ ・「自らの参加により地域を変えるという意識を持つ」 地域社会参画に関する高い意識を持つ ● 研究開発するプログラム 震災の風化防止や原発事故の風評払拭に向けた取組、地域資源を再発見して活用する取組などを通して、地域復興を担う人材を育成する。

	<p>○学科連携による学習内容を相互に学習する「Cross Training Program」の開発</p> <p>○イノベーション・コースト構想に寄与する人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業科における新たな産業に対応できる技術・技能を身に付けたエンジニアを育成するプログラムの開発 ・商業科におけるプロフェッショナルの意識を持ったビジネス人材を育成するプログラムの開発
<p>東京都立 新宿山吹高等学校 <small>しんじゅく やまぶき</small></p> <p>(情報)</p>	<p>【研究開発課題】</p> <p>「Shinjuku Yamabuki 2020 多様な未来に対応する情報技術者の育成」</p> <p>昼夜間定時制情報科における単位制・無学年制を活かした情報技術者育成プログラム</p> <p>【研究開発の概要】</p> <p>昼夜間定時制情報科における単位制・無学年制を活かした情報技術者育成プログラムの研究である。様々なスキルで入学してくる生徒に対して充実した専門教育を行い、情報のプロフェッショナルを育成することで情報系・工学系分野への進学・就職を増加させ、人材確保につなげたい。また、その教育プログラムの普及に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々なスキルで入学してくる生徒に対し、本教育プログラムにおける授業や様々な取組を積み重ねることで、次の要素を備えた情報のプロフェッショナルを育てる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 使命と情熱を持った情報のプロフェッショナル (2) 確かな技術力を持った情報のプロフェッショナル (3) 問題解決能力を持った情報のプロフェッショナル ●情報のプロフェッショナルを育成するための取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報技術者育成のための事業マップの作成 (2) 事業マップを基にした到達度マップの作成 (3) 到達度マップを用いた生徒評価 (4) 入学から卒業までを見通した「履修モデル」の作成 (5) 生徒のポートフォリオの作成と評価 (6) 大学や企業、地域と連携した教育活動
<p>新潟県立 加茂農林高等学校 <small>かまの 農林</small></p> <p>(農業)</p>	<p>【研究開発課題】</p> <p>H S J (Hop Step Jump) カリキュラムによる自立型地域リーダーの育成</p> <p>～協働的課題解決能力と自己教育力を兼ね備え、自ら未来を切り拓く人づくり～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年の「総合的な学習の時間」で、①課題解決能力、②協働性の力、③自己教育力のレディネス形成指導を行い、授業や資格取得等の場面で利用させ、技術の習得を図る。 ・外部連携を①インプット型（先端技術講習会、講演会、現場見学会等）、②トレーニング型（インターンシップ、大学生によ

	<p>る「課題研究」指導等）、③アウトプット型（継続型農業体験講座「アグリ・スタディ」の企画・運営、地域イベント参加等）に分類し、バランスよく実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の専門性を活かした効果的なコース間連携により、生徒の成長につなげる。 ・中核的生徒（F S）を海外研修、地域活動等で育て、これを他の生徒の成長にもつなげ、農業教育全体のレベルを高める。 ・地域貢献度の高い「課題研究」テーマを設定し、外部連携を活かして研究する。 ・事業評価を、農業関連産業への就職者、農業系大学進学者、アグリマイスター顕彰制度認定者数の増加や、プロジェクト活動による地域貢献度などから多面的に評価をする。
<p>新潟県立 新潟工業高等学校 (工業)</p>	<p>【研究開発課題】 工業技術の向上に資する専門的職業人材育成プログラムの開発</p> <p>【研究開発の概要】 現在、地域の企業等が求めている人材を「育成すべき人物像」として設定し、人材の育成に向けて、2つの取組を柱とする教育プログラムを開発する。</p> <p>1 育成すべき人材像</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高い実践力に裏付けられた科学的な根拠に基づいて思考し、困難な課題にも対応することができる判断力・表現力を含めた課題解決能力を身に付けている人材 ② 日本が持つ技術力に誇りを持ち、専門分野の知識・技能を習得し、多様な文化や価値観を持つ人々と協働し、生きて働く力を身に付けている人材 ③ 自己実現に向け、工業技術に対して興味・関心を高め、たくましく突き進む行動力や、生涯に渡って主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力を身に付けている人材 <p>2 教育プログラムの柱と取組</p> <p>(1) 地域連携の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 県内企業・大学・研究機関等と連携した講義や技術指導の実施 ② 生徒の資質・能力を育成するための教員の指導力向上に向けた取組 <p>(2) グローバルな視点を育成 外国語を活用して、多様な文化や価値観を持つ人々と協働できる力を育成する。</p>
<p>山梨県立 甲府工業高等学校 (工業)</p>	<p>【研究開発課題】 「数値制御ロボット技術」を通じた、地域産業を支え、地方創生を創造する技術者の育成</p> <p>【研究開発の概要】 地域活性化、地方創生に資する人材を育成するため、「カリキュラムの研究開発と実践」を行い、また、他校や他地域への「普及モデル」となる方策についても提案する。</p>

	<p>1 育成すべき人材像 本県の基幹産業を担う「先進的技術者」を育成するための教育プログラムを開発する。</p> <p>① 「課題解決力・創造力」を育み、専門的で実践的な「技術・技能」を身に付け、自ら考え行動できる「思考力」を兼ね備えた人材</p> <p>② ものづくりを創造する「科学的な根拠に基づいた論理的な思考」、「ひらめきと活用の実践」、「ものづくり倫理」を習得し、新しい価値を創造することができるような人材</p> <p>さらに、専攻科(平成32年度開設)においては、機械系、電気・電子系の横断的、複合的カリキュラムを実施し、「数値制御ロボット」を中心とした産業界を支える「先進的デザイン技術者」を育成する。</p> <p>2 教育プログラムの柱と取組 本科3年間では、</p> <p>①【Thinking】科学的な根拠に基づいた論理的思考力の育成、</p> <p>②【Engineering】高度で実践的な技術力の向上、</p> <p>③【Challenge & Humanity】起業家精神の育成と技術者としての人間教育</p> <p>により、「課題解決力・創造力」の育成を行うことで、「数値制御ロボット」技術の創造と活用ができる「先進的技術者」につなげる3つのプログラムに取り組む。</p> <p>さらに、専攻科の2年間では、</p> <p>④【Advancing】課題解決・創造の実践</p> <p>により、「数値制御ロボット」技術を具現化することができるような応用力を合わせ持つ「先進的デザイン技術者」の育成につなげる4つ目のプログラムに取り組む。</p>
<p>三重県立 相可高等学校 (家庭)</p>	<p>【研究開発課題】 三重から世界へ！ ～「世界で活躍する食のプロフェッショナル」の育成と「グローバル・ブランド」の開発～</p> <p>【研究開発の概要】 本校食物調理科は、近年、海外での活動の場が増えており、生徒は和食の魅力を再確認するとともに、海外への興味、関心を高めている。このような中、「世界で活躍する食のプロフェッショナル」の育成を目指し本研究に取り組む。 具体的な内容は以下のとおりである。</p> <p>1 「食のプロフェッショナル」を育成するための指導方法（「技術力」「経営力」「商品開発力」「コミュニケーション力」の育成）のブラッシュアップ</p> <p>① 教育課程、学習プログラムの見直しと再構築</p> <p>② 各種コンクールへの挑戦と高度な資格取得への支援</p> <p>③ 地域での講習会の実施や研修施設での実践等、「地域の食のリーダー」としての活動</p> <p>2 グローバル人材に必要な「グローバル力（語学力、異文化理</p>

	<p>解力、コミュニケーション力)」の育成</p> <p>① 海外インターンシップの実施による世界に通用する力の育成</p> <p>② 海外の高校生、SGH研究指定校の生徒との交流を通じたコミュニケーション力の育成</p> <p>③ 国際料理コンクール等、世界の舞台で活躍できる仕組みづくり</p> <p>3 三重の豊かな食材(「メイド・イン・三重」)を使った「グローバル・ブランド(三重の食材を使ったレシピ、商品)」の開発および海外への発信</p> <p>① 三重の豊かな食材を使ったレシピと商品の開発</p> <p>② レシピ・商品を提供する際のサービス(接客等)の向上</p> <p>③ レシピ・商品の海外発信</p>
<p>滋賀県立 <small>はち まん</small> 八幡商業高等学校 (商業)</p>	<p>【研究開発課題】 企業の社会的責任(CSR)を全うするプロフェッショナル人材の育成 -21世紀型近江商人育成プランによる、「商業道徳」を身に付けた「三方よし」を実践できるビジネスリーダーの育成を目指して-</p> <p>【研究開発の概要】 本研究は、CSRを全うするプロフェッショナル人材の育成を目指し、三年間で次の資質・能力を育成するため、近江商人探究、起業家育成、グローバル人材育成、地域の担い手育成、エキスパート人材育成に関する学習プログラムの開発に取り組む。</p> <p>(1) 高いコンプライアンス意識を持ち企業の社会的責任を全うする力</p> <p>(2) 主体的に社会に参画し積極的に社会に貢献する力</p> <p>(3) 多様な文化や価値観を理解し、他者の存在を認め他者と協働し、グローバルに活躍できる力</p> <p>(4) 地域の伝統・歴史・文化を理解し、その良さを認識し、地域の一員として地域創生に貢献できる力</p> <p>(5) 高度な専門知識を活用し、説明責任を果たせる力</p>
<p>愛媛県立 <small>うわじま</small> 宇和島水産高等学校 (水産)</p>	<p>【研究開発課題】 地域水産資源を活用した、地方創生人材を育成するプログラムの開発研究 ~新製品の開発と6次産業化、グローバル化への対応~</p> <p>【研究開発の概要】 コミュニケーション能力、創造力・開発力・実践力の向上およびグローバル基準に対応した専門知識の育成を図り、地域産業の活性化に寄与できる人材育成プログラムの開発を目指す。また、漁村地域発展モデルとして地方創生に寄与する汎用的事例の構築を目指し、以下の実践研究を行う。</p> <p>1 コミュニケーション能力の育成に関する研究</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ①産学官連携による愛媛県産魚プロモーション活動 ②国際交流活動 ③SSH、SGH、SPH指定3校による連携活動 <p>2 創造力・開発力・実践力の育成に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ①産学官連携による地域水産物を活用した製品開発研究 ②SPH先進校との連携学習 ③各種学会等への参加 <p>3 アントレプレナーシップの育成に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講師招請事業 ②国内外での販売実習活動 <p>4 専門的な知識・技術の育成に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ①製品開発を通じた知的財産教育 ②食品製造実習室の対米輸出対応施設化研究 ③「食の6次産業化プロデューサー」認定施設研究 <p>5 コンピテンシーの定着を客観的に測定する評価手法に関する研究</p> <p>本プログラムで育成された人材が、地域水産資源を活用した新製品開発および6次産業化へ対応するとともに、製造工程の海外輸出規準への達成指導を行うことで、魚価の向上と生産量の増大を通じた地域産業の活性化につながることを狙いとする。</p>
<p>宮崎県立 高鍋農業高等学校 (農業)</p>	<p>【研究開発課題】</p> <p>新たな時代の変化に対応できる次世代農業経営者及び関連産業技術者の育成に関する研究 ～みやざきの発展を担う起業家スピリットとスキルを備えた人材育成を目指して～</p> <p>【研究開発の概要】</p> <p>今、地方創生が叫ばれている中、宮崎県の若年層の県外流出が人口減に拍車をかけている。宮崎県農政水産部では、平成28年6月にみやざき新農業創造プラン～新たな時代の変化に対応したみやざき農業の成長産業化を目指して～が改定され、「儲かる農業の実現」に向けた取組が展開されている状況にある。</p> <p>これを受け、本校では農業経営者及び関連産業技術者のプロフェッショナルを目指し、みやざきの発展を担う起業家を育成することとした。</p> <p>そこで、本研究では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①模擬株式会社「高農」の設置と経営実践 ②「高農ブランド」の農畜産物や加工品の品質向上と新商品開発 ③関連上級学校や地域との連携や寮教育をとおしたキャリア教育の充実 <p>について取り組む。</p> <p>目指す人材像は以下のとおりである。</p> <p>○農業を核とした「フードビジネス」の振興と活力ある地域の創</p>

	造に貢献できる人材 ○高度な農業技術や経営管理能力を有したみやざきの農業をけん引できる人材
--	--------------------------------------------------

